

商業科 「原価計算」 学習指導案

日 時 令和5年2月22日(水) 第2校時
対 象 商業科 2年3組 12名
場 所 2年3組教室
指導者 教諭 寺師 駿
教科書 原価計算(実教出版)

1 単元名・指導項目

単 元 第6編 直接原価計算の基礎
第17章 直接原価計算(その2)

2 単元目標

- (1) 短期利益計画のためのCVP分析を理解する。
- (2) 損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係を理解する。

3 単元について

効果的な経営活動を行う場合には、原価管理だけでは十分でない。企業は利益計画をたて、経営活動を管理する必要がある。そのために、利益計画を立てるために必要な資料を提供する直接原価計算について学習する。

4 単位数 3単位

5 生徒観

明るく素直な生徒が多いクラスである。全体的に一生懸命取り組んでいる生徒が多い。しかし、授業内容の理解度については多少差があり、少人数であるが集中力が続かず落ち着きがない生徒もいる。ICT機器やグループ活動を取り入れ、少しでも理解の定着につながるよう工夫に努めている。

6 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
直接原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、それを利益計画等に的確に活用している。	直接原価計算では、なぜ変動費だけで計算するのか、損益分岐図表で売上高線や原価線を動かす意味などを考え、利益計画について理解しようとしている。	直接原価計算を利用した原価情報の活用について関心を持ち、自ら進んでまとめ、問題演習に取り組もうとしている。

7 単元の指導計画

第6編 直接原価計算の基礎

第16章 直接原価計算（その1） 3時間

第17章 直接原価計算（その2） 3時間（本時3／3）

8 本時の目標

- (1) 直接原価計算を利用し、売上高の増減によって変化する原価や利益計算、目標利益を達成するために必要な売上高の設定などを、CVP分析や損益分岐図表を通して理解する。
- (2) CVP分析によって求めた結果から、目標利益を達成するためにどのようにしたら良いか、思考・判断し、表現する力を身に付ける。
- (3) 直接原価計算について関心を持ち、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

9 本時における観点別学習状況の評価

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
知識・技術	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術を理解し、それを利益計画等に活用することができる。	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術をしっかり理解し、それを利益計画等に的確かつ正確に活用することができる。	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術を理解していない。また、それを利益計画等に活用できない。 【手立て】CVP分析の方法について確認させる。
思考・判断・表現	直接原価計算を利用したCVP分析によって求めた結果について思考・判断し、表現することができる。	直接原価計算を利用したCVP分析によって求めた結果について、適切かつ正確に思考・判断し、相手にわかりやすく表現することができる。	直接原価計算を利用したCVP分析によって求めた結果について思考・判断し、表現することができない。 【手立て】いくつかヒントを与え、考えるきっかけをつくる。
主体的に学習に取り組む態度	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術を理解しようとする取り組みがみられ、協働的に取り組む態度がみられる。	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術を、意欲的に理解しようとする取り組みがみられる。さらに、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度がみられる。	直接原価計算を利用したCVP分析の基礎的・基本的な知識・技術を理解しようとする取り組みがみられない。 【手立て】改善に向けた声かけや助言を行う。

10 本時の展開

段階	時間	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに学習した内容の確認をする。本時の内容の説明を聞き、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに学習した内容を活用し、振り返りを行う。そして、本時の学習内容を説明し、目標を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに目標を記入し、内容を理解しているか。 【態】
		実際のデータをCVP分析し、周りと協力して適切な利益計画・販売計画ができるようになる。		
展開	38分	<ul style="list-style-type: none"> 前時に求めた商品の損益分岐図表を確認し、損益分岐点や売上高の変動について理解する。〔全体〕 	損益分岐図表を提示し、売上高が変化したときに原価がどう変動するか、利益がどれだけになるかということを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 求めた結果を損益分岐図表で確認し、売上高の変動による仕組みが理解できたか。【知】
		<ul style="list-style-type: none"> 実際に値下げされた販売価格でCVP分析を行う。〔班〕 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに提示された値下げされた実際販売価格の商品データをグループでCVP分析をさせる。このときに貢献利益率が変わることには注意させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 直接原価計算によるCVP分析を適切に行い、答えを求められているか。【知】
		<ul style="list-style-type: none"> 前時に求めた目標利益を達成するために、分析したデータを比較し、販売数量を増やすためにはどうすれば良いかを班でGoogle Jamboardを用いて意見を出しあう。〔班〕 まとめた内容を発表する。その際、各グループの発表内容をワークシートにメモをする。〔全体〕 	<ul style="list-style-type: none"> Google Jamboardを用いて販売数量を増やすためには、どうすれば良いかをKJ法によって意見を出させる。意見がなかなか出ない班には、ヒントを提示しながら机間指導を行う。 意見をグルーピングさせ、まとめた内容を発表させる。他のグループの意見をメモさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> Google Jamboardを用いて自分の意見を伝えることができているか。【思】【態】 意欲的にグループ活動に取り組んでいるか。【態】 相手に伝わる発表ができているか。【思】
終末	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を振り返る。 次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> Google Formsにて自己評価を行い、本時の学習内容を振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> Google Formsにて自己評価を行っているか。【態】

※【知】…知識・技術，【思】…思考・判断・表現，【態】…主体的に学習に取り組む態度